

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対

署名(オンライン&署名用紙)

推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2021/8/25

No. 4

賛同署名は

2,796

人

* オンライン8/24まで

1,235

筆

* 署名用紙 8/23まで

みやぎ生協・コープふくしまは、東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水(冷却水などの汚染水)の海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします

オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。HPまたは事務局へお問い合わせ願います。

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>



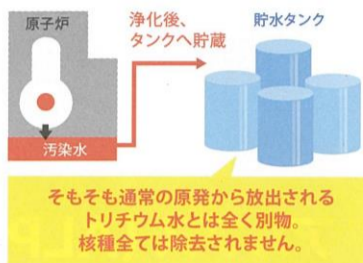
スマホはこちらから

●そもそもアルプス(ALPS)処理水って・・・学習編 : 海の豊かさを守るために、次世代のために、今わたしたちができることを考え行動していきましょう!

1 「アルプス(ALPS)処理水」ってそもそも何?

「アルプス(ALPS)処理水」とは、原発事故によって発生した汚染水をアルプス(ALPS)等の浄化装置でトリチウム以外の放射性物質を規制基準以下まで浄化処理したものをいいます。

福島第一原発で保管されている貯水タンクのアルプス(ALPS)処理水は、処理水と言っても通常の原発から放出されるトリチウム水とは違っており、トリチウム以外の核種の存在が指摘されています。



Q,アルプス(ALPS)とは?
A,多核種除去設備の総称です。
ALPS (Advanced Liquid Processing System)
・多核種除去設備(ALPS)とは
溶け落ちた核燃料を冷却するために使用されている水が放射性物質と交り汚染水となる。この汚染水に含まれる放射性物質を、薬液による沈殿処理や吸着材による吸着など、化学的・物理的性質を利用した処理方法で、**トリチウムを除く62種類**の放射性物質を取り除くことができるように設計した設備です。

* 取り除くことができない放射性物質がトリチウムです。

海洋放出の完了まで30~40年もの長い期間を要する計画です。東京電力福島第一原発の敷地内には、まだ貯水タンクを設置できる場所もあります。そのうちに放射性物質の半減期が過ぎていきますので、今すぐ急いで薄めて放出する必要はありません。



2 「アルプス(ALPS)処理水」を海洋放出するとどんな問題が?

原発事故から10年間、安全な食品の確保のために、福島県では自主基準を設け検査を行うなどの取り組みを進めてきました。宮城県では、いまだに特産品のホヤが輸出できないなど、経済的にも大きなダメージを受けています。2年後に「アルプス(ALPS)処理水」の海洋放出が行なわれると、国が言う基準内に薄めたものであっても、通常稼働している原発からは発生しない原発事故由来の放射性物質も放出されます。さらに新たな風評を生むことになり、今までの努力が無駄になり、困難が増してしまいます。



Q,トリチウムとは?
A,「水素の仲間(同位体)」で、放射線を出す放射性物質です。原子力施設では燃料に使われているウランの核分裂などを通じてトリチウムが生成されます。原子力発電所を運転すると必ず生み出される放射性廃棄物となります。半減期は約12年です。

Q,薄めて流せば問題ない?
一定の濃度制限のもと放出されたとしても総量に対する規制はないため、総量への不安があります。
海洋に放出されたトリチウムが均一に薄められるという保証はなく、地形や気象によっても変化するため、どこかの濃度が大きくなるのが心配です。

3 国と東電は、国民に対して誠実に、正しく情報を提示しているのでしょうか

これまでも問題はないと表明したにもかかわらず、不具合が生じていたことが地元紙の取材で明らかになるなど、国や東電に対する信頼・信用が不十分だと、地元紙が伝えています。

何より「関係者の理解なしにはいかなる処分も行いません。」という約束が守られていません。国や東電は、海洋放出をすることよりも先に、汚染水処理に関して安全性の確保、国民への説明・理解を広げるために時間と労力を費やすべきです。

4 みんなの大事な海をどうしていくかを決めるのは、私たち自身!

原発事故のツケを、未来に押し付けていいものなのでしょうか。海洋放出は、環境の悪化と風評被害を拡大させます。

今回の「アルプス(ALPS)処理水海洋放出」は、地元漁業者のくらしを台無しにし、安心してくらしたいみんなの思いを分断するものです。私たちの大事な海に本当に流していいものなのか?今、声を上げることが大切です。



Q,海洋放出、何が問題?
A,放射性物質は集中管理が基本であり、放出してしまったら回収できません。
「関係者の理解を得ることなくしていかなる処分も行わない」という約束が守られておらず、数年内に本格操業を予定していた漁業への打撃、産業全体への影響が心配されます。
福島第一原発の敷地内には、まだ貯水タンクを設置できる場所もあり、放射性物質の半減期が過ぎていくので、今すぐ急いで薄めて放出する必要はありません。



<学習会のご案内>
◇9月8日10:30~12:00 『豊かな海を後世に引き継ぐために』
講師 林薫平氏 福島大学食農学類准教授
三陸・常磐の海は一つ! 森と里と海はつながっている!
思いを込めて仙台からオンラインで全国へ発信します。
●問い合わせは みやぎ生協 生活文化部
くらしの活動推進課 TEL022-347-3826
池町 江美子 課長まで

→写真 右が林 薫平 先生



<情報・お問い合わせ先>
みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
TEL024-557-1181 FAX557-5359 * mail:sn.f10243sn@todock.coop (根本)

<編集後記>erikoのつぶやき
子どもの頃から海が好きです。水に入らずとも、海を眺めているだけで砂浜を歩くだけで、なんとも言えず心が安らぎます。署名賛同者の方から「たとえ基準をクリアするレベルにまで処理された水であっても、原発事故の処理水が流れてくるような海水浴場で泳ぐのは、なんかムカつくし癪に障る」というコメントがありました。大いこうなすきです。余計なことが頭をよぎることなく、ただシンプルに海を感じたい。そして海の幸を満喫したい。言わずもがな海はつながっています。海の豊かさをみんなで守っていきましょう。